可児市公共施設の温室効果ガス排出量の公表

2024（令和6）年度の可児市公共施設における温室効果ガスの排出量は、5,887,317kg-CO_2 となり、基準年度（2013 年度）から 19.8%の削減となりました。

前年度と比較すると、温室効果ガス排出量の 80%を超える電気による CO_2排出量が減少しています。照明設備の LED 化による成果が表れはじめているものの、猛暑による影響などで全体での電気使用量は横ばいの状況となっています。

2030 年度の削減目標達成のためには、公共施設における再生可能エネルギーの導入や節電対策をさらに強く進めていく必要があり、2025（令和7）年度から本格化している「GX アクション重点事業」の推進が大変重要になります。

◆ 温室効果ガス排出量の推移

（単位 ：kg- CO_2）

用途	排出源	2013 年度 CO_2排出量	2023 年度 CO_2排出量	2024 年度 CO_2排出量	2024 年度 2013 年度比増減率
施設	電気	6,215,693	5,292,142	4,967,917	▲ 20.1%
	LPG	131,590	91,512	103,651	▲21.2%
	都市ガス	114,138	165,354	182,658	60.0%
	灯油	675,012	480,612	502,106	▲ 25.6%
	A 重油	79,376	1,337	972	▲ 98.8%
公用車	ガソリン	109,875	120,807	111,135	1.1%
	軽油	13,328	21,690	18,878	41.6%
	LPG	1,613	－	－	皆減
合計		7,339,013	6,173,454	5,887,317	▲ 19.8%

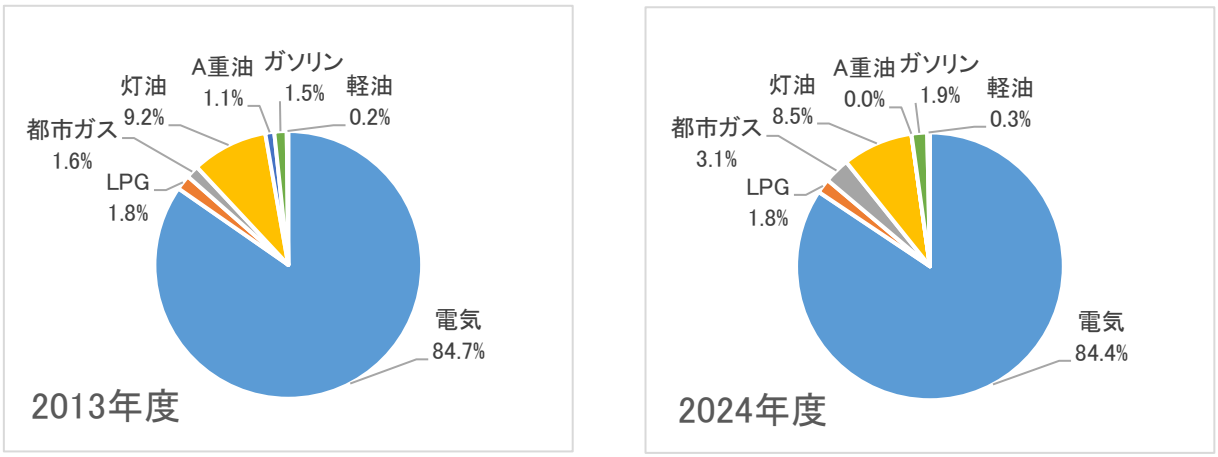


図1　排出源別の温室効果ガス排出比率

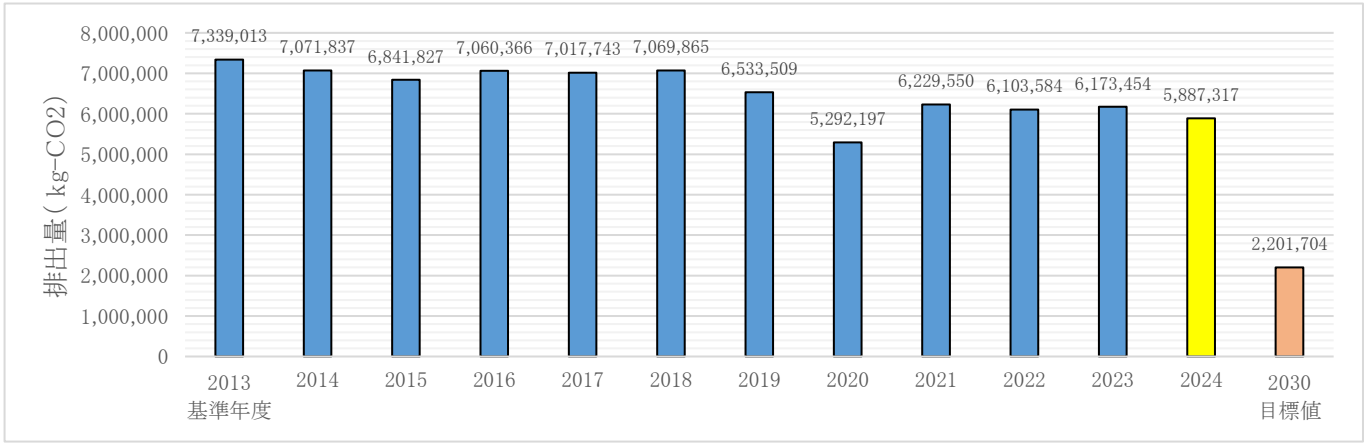


図2　年度別温室効果ガス排出量